

物流事業者におけるKPI導入のあり方に関する検討会について

※KPI (Key Performance Indicator)とは、組織の目標の達成度合いを測るために設定する定量的な指標(重要業績評価指標)。継続的に測定することで、目標達成に向けた組織のパフォーマンスの動向を把握し、その状況に基づいて業務を改善。

背景

- 物流産業においては、業務の効率化を行うための指標の設定、それに基づく改善活動が必ずしも浸透していない状況にある。
- また、荷主と物流事業者、物流事業者内の担当者において、遅配等が生じた際の原因究明が必ずしも明らかでない、両者で認識ができる指標がないおそれがある。
- 物流業務の改善を荷主と物流事業者が一体となって推進できるよう、物流効率化のための指標(物流KPI)を設定し可視化することにより、また物流KPIの実効性を高める方策を推進することにより、健全な効率化を通じた産業の発展を促す。

検討項目

検討会を設置し以下の検討を実施。

【物流KPI設定の検討】

物流事業者において設定すべき標準的な指標を検討

【実効性向上方策の検討】

物流KPIの活用方法、社内外との連携方法社内浸透方法、等を検討



『物流事業者におけるKPI導入の概要』のとりまとめ

- ①基礎的解説 ②KPIの必要性・利用目的 ③利用状況 ④導入～改善の流れ

そもそもどのような指標で業務改善していけばいいのか。

物流KPIを使用してどうやって改善活動を進めればいいのか。

経営者

従業員

物流KPIを導入するから、これに従って努力してもらいたい。

なぜ、そんな面倒なことをやらないといけないのか。やる意味があるのか。

検討スケジュール

第1回:H26年11月27日
第2回:H27年1月15日

第3回:H27年2月下旬(予定)
第4回:H27年3月中旬(予定)

検討メンバー

(五十音順)

【物流事業者】 (株)アルプス物流、高末(株)、DHLサプライチェーン(株)、日本通運(株)

【荷主】 サンスターSS、スターバックスコーヒージャパン(株)

【大学】 東京海洋大学、流通経済大学

【団体】 一般社団法人日本物流団体連合会

【行政】 国土交通省

【事務局】 公益社団法人日本ロジスティクスシステム協会